

CIS Score を用いた DLB (レビー小体型認知症) 診断の最適化に関する研究

1. 研究の対象

H27年2月～H29年7月までに脳血流 SPECT を受けられた方

2. 研究目的・方法

当施設の役割のひとつに、適切な認知症診断を行い、かかりつけ医への情報提供し連携を構築することが挙げられる。認知症診断は、臨床経過、臨床症状、採血検査、画像検査を用い、総合的に行うが、経時的な経過観察を必要とする例も少なくない。一方で、周辺症状などにより、受診および検査に結びつけること自体が難しいケースに遭遇し、短期間に診断を行わざるを得ないケースも存在する。そのような際、当院では脳血流 SPECT 検査を早期診断、鑑別診断に活用しているが、臨床診断、画像診断不一致例に遭遇する。当研究では、これまで当院症例を後方的に解析し、1) 臨床診断と画像診断の整合性を検証し、2) 臨床診断・画像診断不一致例での特徴的な臨床症状、画像所見を探索し、3) 今後の脳血流 SPECT 診断能の向上を目標とする。

研究期間：H29年12月～H30年5月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：SPECT画像所見、臨床症状、臨床診断 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：群馬県伊勢崎市太田町 366

電話：0270-24-3355

担当者所属・氏名：画像診断科 前村啓介

研究責任者：群馬県認知症疾患医療センター
センター長 神澤 孝夫